

100年先も続く持続可能な農業を実現する

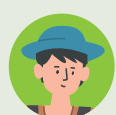
「農業にロボットって大丈夫なの？」

そんな疑問にお答えします！



ロボットの導入のメリットは？

ロボットがピーマンを収穫することにより、ピーマンの収穫適期を逃してしまう率を下げ、収穫量を増やします。また、適期でピーマンを収穫を多くすることにより、他の収穫適期前の実に適切に栄養を行き渡らせることができます。結果、全体の収穫量を上げる効果が見込めます。



このロボットで どのくらい収穫できるの？

農家さんの年間収穫量の20%程度をサポートするロボットを目指しています。例えば、1反あたり13トン収穫できる農家さんであれば、20%アップの16トン程度にするロボットを目標としています。



ピーマンの下の部分は取れない？

地面から100cm以上160cm以下の範囲が収穫できます。100cmより下のピーマンは人の手で収穫していただく事になります。収穫のできる範囲は、今後の機能改善で拡大していきます。



収穫したピーマンは どう回収するの？

収穫したピーマンはロボットの収穫ボックスに貯めます。地面に等間隔で置いたコンテナに、ピーマンを入れる仕組みを予定しています。収穫完了後にコンテナを回収してください。



本体の重さは？

収穫ロボットは、おおよそ10-12kg程度の重さ(予定)になります。当初の導入においては、畝と畝の間に張ったワイヤーからワイヤーへ手動で動かして、吊るし掛けてもらう必要があるため、収穫を行うパートさんでも持ち運びできる重量を目指しています。



吊るすワイヤーの仕組みは？

ビニールハウス内の既存の作物荷重パイプ(想定2~4m間隔)に、ワイヤーを取り付ける予定です。ロボットを吊るすと重さで少したわんで下がりますが、ロボットが無い時はパイプの高さに戻ります。



作業が終わったら片づける？

収穫ロボットは、ビニールハウスから出して、高温多湿となる場所を避けて保管をお願いします。設置したワイヤーはそのままになります。



農業課題の 解決策は裏側に!!

裏面もご覧ください!